

令和元年度 放課後児童クラブ「秋津」事業報告

令和元年度、4月利用人数89人、3月61人でした。春は学年が変わり不安もあり希望が多いが、高学年の部活が始まったり、下校後家庭に帰ることが出来るようになり人数が減った。多くの子ども立ちを安全に預かるため職員の連携を大事に行った。学童会議の継続実施。しかし保育の連携がうまく出来ず、園庭の使い方、園の先生と意見の食い違いがあったりして迷ったケースも見られる。今後は、学童独自になりやすい点は、一緒に会議等で情報を共有していかなければならないと考えた。また、怪我などは、一つの事故が、体格もよい学童は、重傷になりやすく引き続き注意していきたいと思う。

<放課後児童クラブ 事故報告>

病院受診 3件 (ロッカーにぶつかり顔を切傷3針縫合 ぶつかり切傷まぶた3針縫合)

<放課後児童クラブ 秋津 (あきつ) の目標>

「自分から考えて行動できる子ども」 「気持ちの良いあいさつができる子ども」

<重点目標>

- ①一人ひとりの児童を理解し、自主性を育てる。
 - ・職員の増員 1名採用合計7名の職員で子どもの様子、援助方法を日誌に記入に共有した。
 - ・ホームページや写真販売で子どもの様子を載せた。
- ②社会性を身につけ、仲間意識を身につける。相談できる場所や人をつくる。
 - ・療育相談 気になる子の関わり方をアドバイスしてもらう。学校との連携をおこなった。
 - ・長期休暇は、プール活動中心に、ボランティア、園児交流、夏の大型バス2台で遠足に行った。
- ③職員一人ひとりが意識をして、働きやすい職場環境を目指す。
 - ・毎週学童会議の実施
 - ・目標管理の実施
- ④防災安全確認を行う。
 - ・10月補助員が支援研修受講 園内研修の救急講習会に参加することができた。

| 法人事業計画の概要・方針 | 重点目標 | 事業報告 |
|---|---|---|
| 1. 保育サービス質の向上 タイムリーな情報発信 環境の整備 | ①一人ひとりの児童を理解し、自主性を育てる。 ②社会性を身につけ、仲間意識を身につける。 相談できる場所や人をつくる。 | ●支援員の役割分担と意識の向上 ・結果だけ考えるのではなく、保育の過程を大切にしながら、実践や子どもの記録の方法を検討した。 ・学童支援員を中心に、学習、遊びのメリハリをつけていく。宿題の強制でなく誘っていく。 ・遊びの充実 ・職員会議や保護者への説明を計画性に行う。 ・遊びの用具を購入 (バット、投球マットなど) ●給食の提供 (こども園との連携) ・園児との交流 長期期間等を利用し、園児と交流 一緒に遊び子ども同士の中からルールを覚えたり、流しそうめんをしたり遊びを通して楽しむ。 ●学校の様子の情報を得る ●湖西市子育て支援センター (学童担当) と連携を図る。他の学童との情報交換会議 |
| 2. 職員の確保・人事育成 保護者への積極的な子育て支援 | ③職員一人ひとりが意識をして、働きやすい職場環境を目指す。 | ・子どもの姿を伝え合い、保護者とコミュニケーションをはかり、信頼関係を築く。 ・園行事に参加する。 ・長期休暇等で、社会体験を行う。 ・公共のルールやマナーを体験する ・保護者に様子を随時伝えていく ●相談しやすい姿勢、環境をつくる ・研修参加 (支援員認定資格研修 育成研修) ・研修の学びを活かす。 |
| 3. 地域への貢献 | ④防災安全確認を行う。 | ●防災安全マップ作成 ・登下校安全マニュアル作成ができなかった。 ●光湖苑との交流 ・プチボランティアの実施 |